

目次

千葉大学における女性研究者支援の多様な取り組み ～6月12日部局GP計画発表会開催～	1
両立支援ニーズ調査結果報告	2
役立つ両立豆知識 第5回 育児・不妊治療に配慮した勤務制度導入!	3
みる・ふいーゆ活動通信 ～新年度メンバー募集のお知らせ～	4
研究者のキャリアを知る・活かす ～DVD・ロールモデル集の紹介～	4
News 千葉大学における女性 部局長が3倍になりました!	4

千葉大学における女性研究者支援の多様な取り組み ～6月12日 部局GP計画発表会開催～



千葉大学では2006年度に両立支援企画室を設置し、2007年度より3年間の取り組みとして、文部科学省科学技術振興調整費（女性研究者支援モデル育成）千葉大学「支援循環型体制による女性研究者育成モデル」事業に取り組んでいます。

2008年度は『女性研究者の支援成果を学長が認証する仕組みの構築』として、部局ごとの女性研究者支援策・育成策をGP（Good Practice）として提案して頂きました。

現在各部局の両立支援室では、部局

ごとの女性研究者育成の課題に応じて、独自の取り組みを行い、最終年度にあたる今年度末には、各部局の取り組み成果を評価し、優れた取り組みを表彰する予定です。

こうした各部局の取り組みを広く皆様に知って頂くために、来る6月12日にシンポジウム「千葉大学における女性研究者支援の多様な取り組み～部局GP計画発表会～」を開催します。

当日は齋藤学長をお迎えし、本学の女性研究者育成の取り組み成果や、各部局の取り組みについて報告します。

本学教職員や大学院生など、ご興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

【プログラム概要】

日時:2009年6月12日(金)14:30-17:00

場所:西千葉キャンパスけやき会館3階レセプションホール

対象:教職員および学生・一般の方(定員80名)

【内容】

- ・開会にあたって 千葉大学長 齋藤 康
- ・事業報告「女性研究者の支援循環型体制の構築の状況」
両立支援企画室 室長 森 恵美
- ・GP計画発表(予定)
文学部／教育学部／看護学研究科／工学研究科／園芸学研究科／
薬学研究院
- ・GP発表会意見交換 進行役 両立支援企画室 副室長 寺崎 朝子
総合司会 両立支援企画室(教育学部教授) 岡田 加奈子

両立支援ニーズ調査結果報告

本学の両立支援に関する意見・要望 ～両立支援ニーズ調査結果より～

2008年12月22日から2009年2月7日にかけて、本学教職員・大学院生を対象に「両立支援に関するニーズ調査」を実施し、1,204名の方から回答を頂きました。今回は、自由記述に寄せられた意見・要望の中から代表的な

もの、そしてこれらの要望に対して、両立支援企画室で取り組んだことの一部をご紹介します。

今後も両立支援企画室では、皆様からのご意見・ご要望に答えられるよう取り組みを進めていきます。

自由記述に寄せられた意見・要望

男性のワーク・ライフ・バランスに関する要望

- ・男性の立場から、どのように配偶者をサポートできるのかの視点についても、情報提供があるととてもうれしいです。(教員)
- ・男性側からの両立支援についてもっと積極的にメッセージを発信してほしい。(教員)
- ・男性教職員が家庭生活の両立を図れる仕組みについても検討して頂きたいです。(教員) など



両立支援企画室に関する意見・要望

- ・まだ認知度が低い。(院生)
- ・もっと宣伝すべきだと思う。(教員)
- ・制度があることを全く知りませんでした。もっと周知してほしいと思います。(職員)
- ・サービス・制度の情報がほとんど伝わってこない。もっと情報を伝えてほしい。(医療・看護系職員) など



病後児・病児病気保育に関する要望

- ・子供が病気のときが一番困ります。西千葉に病後児・病児病気保育があれば、なんて助かるでしょう。大学としてのアピール度は満点だと思います。ぜひ設置を願います。(教員)
- ・遠くから通う子育て中の教員が支援を受けられるようにしてほしい。例えば、信頼のおけるベビーシッターの派遣仲介や病児保育費用の負担など。(教員) など



育児支援制度充実への要望

- ・保育所は親が迎えにくるまで預かってもらえますが、小学校にあがったら低学年の頃は学童に通わせるしかないので、小学校3年まで時短ができれば学童に通う時間を少しでも短くでき子供のためにもいいと思います。(その他医療系職員・研修医)
- ・病児保育休暇とか、回復期病児ベビーシッター料金支援などがあつたらありがたい。(教員) など



介護に関する要望

- ・介護休暇を取りやすくしてほしい。1日単位でとれる様に制度の改正を希望する。非常勤職員にも介護休暇を取れるようにしてほしい。(教員)
- ・介護の必要な親を抱える職員(非常勤職員)が多いにも関わらず、制度の説明等も全く無い。例えば、月に一度(午前休暇など)など充実して欲しい。一日単位でも取れると非常に良いと思います。(医療・看護系職員)
- ・介護と仕事の両立についても多く扱って欲しい。実践を伴った介護セミナーなど受けてみたい。(医療・看護系職員) など



両立支援企画室の取り組み

全教職員へリーフレット配布

4月に全教職員(非常勤含む)及び大学院生にリーフレットを配布しました。

男性のワーク・ライフ・バランス事例紹介

『男性教員に聞く“両立の秘訣”』(2008年度開催)を収録したDVDの貸出を始めました。

勤務制度改革の推進

両立を支援する勤務制度が導入されました。詳細は3ページをご覧ください。



役立つ両立豆知識 第5回 育児・不妊治療に配慮した勤務制度導入！ ～平成21年4月より導入された制度の概要紹介～

本学の両立支援の一環として、平成21年4月1日より以下の3つの制度が導入されました。

これにより「育児短時間勤務制度の対象が小学校3学年まで」、「育児部分休業が

小学校就学の始期に達するまで」となりました。また「不妊治療にかかる休暇」が制度として新たに導入されました。

本制度の利用などについては、各所属部局担当者までお問い合わせください。



1. 育児短時間勤務制度の導入 —職員が職務を完全に離れることなく育児を行うことを可能とする、育児のための短時間勤務を認める制度—

(1) 対象職員	小学校 第3学年の終期を経過するまでの子を養育する常勤職員
(2) 適用除外者	① 非常勤職員 ② 期間を定めて雇用される職員（任期制の教員を除く。） ③ 育児休業代替職員 ④ 配偶者が育児休業をしている職員 ⑤ 職員が育児短時間勤務をすることにより子を養育しようとする時間において職員以外の親が養育することができる場合における職員
(3) 勤務形態	下記①～⑤に掲げるいずれかの形態により勤務 ① 1日当たり3時間55分（週19時間35分） ② 1日当たり4時間55分（週24時間35分） ③ 週3日（週23時間15分） ④ 週2日半（週19時間25分） ⑤ （変形労働時間制適用職員） 週当たり19時間25分、23時間15分、24時間35分
(4) 手続き	一月前までに申出 当該職員の業務を処理するための措置を講ずることが著しく困難である場合を除き、承認
(5) 期間	養育する子が小学校第3学年の終期を経過するまで
(6) 育児短時間勤務に伴う職員の採用	育児短時間勤務職員の処理できない業務に従事させるため、常時勤務を要しない職員を採用可

(注) 国の場合は、養育する子が小学校就学の始期に達するまでの期間となっている。

2. 育児部分休業制度の改正 —育児部分休業取得事由の拡大—

現 行	改 正 案
子が3歳に達するまで	子が小学校就学の始期に達するまで

(注) 育児部分休業とは、就業しつつ子を養育するために、始業時刻又は終業時刻に連続する時間において、1日を通じて2時間を超えない範囲内で、30分を単位として勤務しないことができる制度

3. 不妊治療にかかる休暇の新設 —不妊治療を行うため入院又は通院する場合 年10日間—

常勤職員	病気休暇（有給）として取り扱う。
非常勤職員（フルタイムで6月以上任用）	無給休暇

(注) 非常勤職員（フルタイムで6月以上任用）については、病気による休暇は無給休暇となっている。



千葉大学
両立支援企画室

<http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/>

E-mail ryouritsu@office.chiba-u.jp

◇ 西千葉キャンパス ◇
〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL&FAX 043-290-2020
(内線4043)

◇ 亥 鼻キャンパス ◇
〒260-8672

千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL&FAX 043-226-2774
(内線5782)

みる・ふいーゆ活動通信 ～新年度メンバー募集のお知らせ～

両立支援企画室では、研究者・研究職としての活躍を目指す女性大学院生“みる・ふいーゆ”の今年度活動メンバーを募集しています。

昨年度は活動メンバーによる女性

研究者の取材、取材結果のポスター発表を実施しました。



▲活動打ち合わせの様子
研究生生活や恋愛の悩み？！を話し合うことも。

今年度は、研究者を目指す大学院

生の意識調査や、大学院進学を目指す学生を対象としたキャリアガイダンスの実施などを予定しています。

多数のご応募お待ちしております！



〈みる・ふいーゆメンバー応募先〉
千葉大学両立支援企画室
女性研究者支援モデル育成事業

TEL&FAX 043-290-2020 (内線4043)

E-mail ryouritsu@office.chiba-u.jp

研究者のキャリアを知る ～DVD・ロールモデル集の紹介～

両立支援企画室では、女性研究者支援モデル育成事業の一環として、DVD【研究者のワーク・ライフ・バランス】、冊子【千葉大学女性研究者のロールモデル～先輩研究者からのメッセージ～】を作成しました。現在DVDの貸出、冊子の無料配布中です。

女性研究者はもちろん、ワーク・ライフ・バランスについて考えたい

男性研究者、これから研究者を目指す大学院生などに参考になる情報を収録・掲載しています。

DVD貸出・冊子配布をご希望の方は、両立支援企画室まで気軽にお問い合わせください。



編集後記

厚生労働省委託事業の冊子『父親のワーク・ライフ・バランス』*には、父親の子育て事例集が掲載されています。第二子が生まれたことをきっかけに育児休業を取った父親の体験では、生まれたばかりの子ども世話で忙しい母親にかわり、父親が上の子の相手をし、休暇後も保育園の送迎など、楽しみながら子育てにかかわっている様子が紹介されていました。

今回のアンケート結果から、本学でも仕事や研究も大切にしながら、子育てができる環境充実の必要性を改めて痛感しました。

(特任研究員 小玉小百合)

*平成20年度厚生労働省委託「男性の仕事と育児の両立意識啓発事業」(株)産業社会研究センター(2009年2月)発行
本冊子は両立支援企画室で無料配布中です！

〈問い合わせ先〉 両立支援企画室 E-mail ryouritsu@office.chiba-u.jp

News 千葉大学における女性部局長が3倍になりました！

本学の部局長が、昨年度まで看護学部長1名でしたが、平成21年度から3名になりました。本学の運営に女性教育研究者の視点からの意見が反映され、千葉大学の男女共同参画が加速されることが期待されます。

【写真左から】 舟島なをみ 普遍教育センター長・齋藤康 学長・正木治恵 看護学研究科長・高垣美智子 環境健康フィールド科学センター長



千葉大学では、平成19年度文部科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成事業)「循環型支援体制による女性研究者育成モデル」に取り組んでいます。 <http://www.womensupport.chiba-u.jp/>